

### 積乱雲

春から秋にかけて、特に夏の暑い日によく見られる雲として積乱雲があります。入道雲ともいわれますね。この積乱雲は、ちょっと危ない雲です。

まず、積乱雲のでき方ですが、強い上昇気流によって発生します。強い上昇気流は「大気の状態が非常に不安定」な時に起こります。「大気の状態が非常に不安定」とは、地面付近は暖かく、上空に冷たい空気があるような状態ですので、気温が高くなる夏の前後によく発生します。暖かい空気にはたくさんの水蒸気を含むことができるため、上昇気流に乗って高いところに水蒸気が移動し、上空にある冷たい空気によって冷やされると、水や氷に変化し雲となります。雲の中では水や氷が上下に激しく動き、その時に発生する静電気が雷です。さらには、大粒の雨や、氷が溶けずにおちてくる、「ひょう」や「あられ」が降り、短い時間でも大雨になってしまうこともあります。また、雨が降っていないなくても、積乱雲の周辺では、竜巻やダウンバーストとよばれる突風が吹くときもあります。

遠くに入道雲がみられたあと、しばらくして、厚い雲に覆われてくるような時は、積乱雲が迫っている状況です。外にいるときは、頑丈な建物の中に移動しましょう。

また、突風の危険が高まると、気象庁から「竜巻注意情報」が発表されることもあります。突風の危険がある時は、建物の中でも、風により窓が割れることがあるため、カーテンやシャッターなどを閉め、窓から離れた建物の真ん中で、積乱雲がすぎるのを待つようにしましょう

### 今年の夏の気候は

気象庁の長期予報によりますと、関東地方は、平年並みか高い気温となり、降水量は平年並みか多い予想です。

平年の値（日立市役所）

項目	6月	7月	8月
平均気温（℃）	19.8	23.6	25.2
降水量（mm）	155.9	158.1	121.6
日照時間（時間）	123.0	135.7	175.6
平均湿度（％）	82	84	82

平年値（1991～2020年の30年間の平均）

地区別の気温の予想をはじめました

市独自の観測所がある、市役所、十王交流センター、北部消防署、本山、西部支所、諏訪スポーツ広場、南部支所を対象に気温の予想をホームページ等でお知らせしています。

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

防災対策課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<https://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。